

委員会	規律・フェアプレー委員会	担当者氏名	武内 英郎
<p><b>〔現状〕</b></p> <p>各種別の連携が不十分であり、出場停止や累積警告による出場停止もバラバラであったりする。JFA規約・規定を各種別の委員長が把握して理解を深める。</p> <p>フェアプレーの精神を理解した上での行われなかったゲームも幾つかあり、特に、トーナメントの勝ち上がりによって退場者が多くみられる。チーム、選手、関係者だけでなく、応援の保護者にもフェアプレー精神を深めて欲しいケースもある。</p>			
<p><b>〔目標〕</b></p> <p><b>5～10年後</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規律・フェアプレー委員会として組織を充実させるために、各種別の連携を深める。</li> <li>・北信越エリアでの情報交換を実施する。</li> <li>・判例を題材に委員長がディスカッションを行う。</li> <li>・フェアプレー賞対象のチームを大会を通じて評価し、それをチームに積極的に贈る。</li> <li>・各大会の視察を行い、「規律・フェアプレー委員会としての報告書」を作成する。</li> </ul> <p><b>20年後</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審判委員会と共有できる企画を実現し、ゲームでの公正さを分析する。</li> </ul> <p><b>20年以降50年後</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに、改革を進める。審判委員会と共有できる企画を実現し、ゲームでの公正さを分析する。</li> </ul>			
<p><b>〔目標達成のための具体的な取り組み〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規律・フェアプレー委員会議を定期的で開催する。年2～3回を目安。</li> <li>・北信越国体の時期に北信越エリアの情報交換を行い、年度ごとの目標を設定する。 例) 年度の種別ごとの出場停止選手のファイルを作成。</li> <li>・各大会の事前に行われる、代表者会議、総会、顧問総会などで規律フェアプレー委員会の取り組みや基本姿勢を伝達する。</li> </ul>			